

6月下旬から連日記録的な暑さが続いておりますが、皆様元気でお過ごしでしょうか。水分と塩分、そして睡眠をしっかり取り、暑さに負けず夏を乗り切っていきましょう。

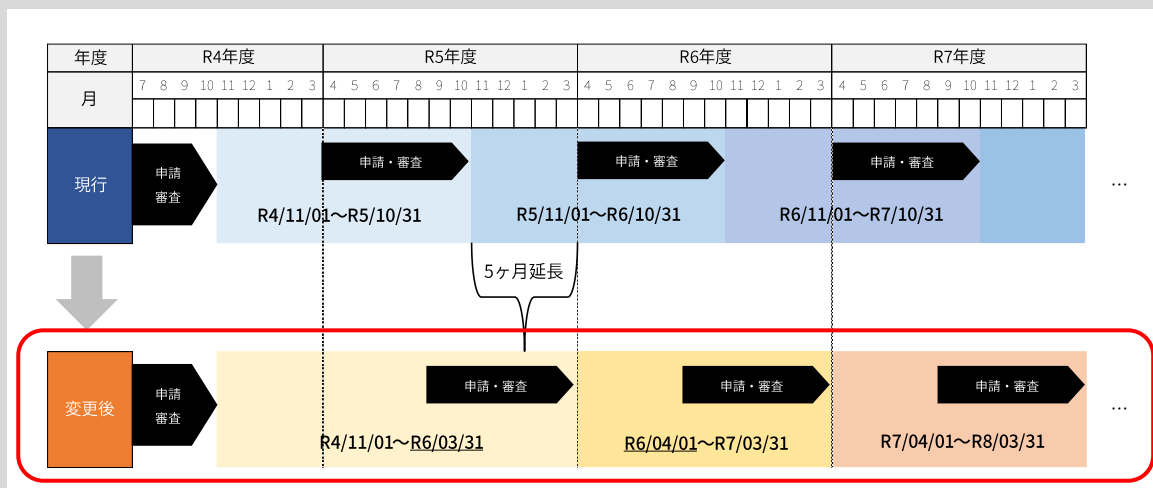
また、7月に入り、登録申請に関するお問い合わせが増えております。不明な点や相談などありましたら、下記連絡先まで遠慮なくご連絡くださいませ。

➤【重要】登録期間の延長について

JSP0から通知があり、登録有効期間が「R4年11月1日～R5年10月31日」➤「R4年11月1日～**R6年3月31日**」に変更となりました。R4年7月末までに登録申請をいただいたクラブは、登録期間が**5ヶ月延長**されます。各クラブにおいて、すでに役員内等で情報共有がお済みの中での変更となり、大変お手数をおかけします。

※7月15日(金)、JSP0主催の登録システム説明会があります。7月19日(火)中に内容を整理してご案内いたしますので、システムでの申請をご希望のクラブは今しばらくお待ちくださいませ。

【登録申請・審査・認定期間イメージ】



登録申請にあたりよくあるご質問

Q：ガバナンスウェブサイトへの登録後、何を提出すればよいのか？

A：ウェブサイト上から「自己説明・公表確認書」を印刷いただき、ご提出ください。

Q：登録基準④「安全管理体制を整備している」について、どこまで整備していればよいのか。

A：クラブ役員の緊急連絡網、定期活動やイベントなどでの事故対応マニュアルの作成など、いざというときのリスクマネジメントがクラブ内でしっかりできていれば問題ありません。

Q：例えば、水泳の有資格者がトレーニング教室で指導する場合、登録基準③「適切なスポーツ指導者を配置している」に該当はしないのか？

A：本基準は「活動種目にその種目の専門指導者が配置されているか」を確認するため、上記の場合は該当しないものとして判断します。

Q：自クラブでは、年会費制ではなく月会費制をとっているが、登録基準②は満たせないのか。

A：香川県登録基準細則において「当分の間は申請した総合型クラブが会員として扱っている者を会員として見なす」と記載しているため、問題ありません。

その他、質問・相談などがありましたら、お気軽に下記連絡先までご連絡ください。

【Club Newsに関するお問い合わせ先】

メール：club-kagawaken@japan-sports.or.jp

電話：087-832-3762（県教育委員会事務局保健体育課・生涯スポーツグループ：山家）

▶ 【案内】 R4年度香川県クラブマネジャー養成講習会

全日程を受講・修了した上で試験に合格すると「公認アシスタントマネジャー」の**専門資格**を取得できます。

日程	R4年12月4日(土)～5日(日)
会場	県青年センター
受講料	2,000円(テキスト代) ※上記専門科目を取得する場合、別途試験料と資格登録料が必要。
申込開始	8月頃を予定しています。
補足	・試験は5日(日)に実施します。 ・テキストは各自で購入いただきます。

■登録申請などにあたり、お持ちのJSPO資格の有効期限を確認したい方は、県スポーツ協会まで。JSPO「指導者マイページ」でも確認できます。
<https://my.japan-sports.or.jp/login>

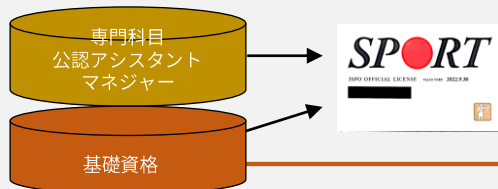
■愛媛県でも同資格が取得できる講習会を開催予定です。



「愛媛県アシスタントマネジャー養成講習会」
日時：9/10(土)～11(日)
会場：愛媛県総合運動公園テニスコートクラブハウス
受講料：5,000円(テキスト代込み)

専門科目を取得しただけでは JSPO資格になりません！

専門科目・基礎資格の2つが揃ってJSPO公認資格になります。すでにJSPO指導者資格をお持ちの方は、基礎資格が免除されます。



R5年度から、基礎資格が「コーチングアシスタント」に一歩化されます。

- ・コーチングアシスタントは、NHK学園通信講座で取得が可能。JSPO資格のため、4年に一度の更新手続きが必要です。
- ・すでに「スポーツリーダー」をお持ちの方は永年認定資格かつ更新手続き・更新料は不要。コーチングアシスタントに移行する必要もありません。



詳細はJSPOホームページをご確認ください。
<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid205.html>

▶ 【案内】 活動中の熱中症対策について

6/24、香川県に今年初となる熱中症警戒アラートが発表されました。総務省消防庁によると、6月の間に熱中症で救急搬送された人数は15,657名であり、6月としては統計を取り始めた2010年以降、最も多くなっています。

各クラブにおいても、活動前に暑さ指数(WBGT)の確認を習慣づけ、屋内・屋外、冷房の有無問わずしっかり熱中症対策を取って活動しましょう。



環境省：熱中症予防情報サイト
https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php

わかりやすい！熱中症対策情報サイト

大塚製薬：熱中症からカラダを守ろう！
<https://www.otsuka.co.jp/health-and-illness/heat-disorders/>

JSC：マンガでわかる
競技者のための暑熱対策
～運動パフォーマンスの低下を防ぐ
身体冷却とは～
https://assets.jscexpotr.jpn-sport.go.jp/11_wBSglH5gvD.pdf



WBGT ℃	湿球 温度 ℃	乾球 温度 ℃	運動は 原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31	27	35	厳重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いため、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人は運動を軽減または中止。
28	24	31	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
25	21	28	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
21	18	24	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給が必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

JSPO：熱中症予防のための運動指針
<https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid922.html>